



聖心キャンパス



第212号の主な記事

- ・ 第53回聖心祭報告
- ・ 海外語学研修報告
- ・ 就職活動体験記
- ・ 課外活動団体紹介
- ・ 岩上真珠先生追悼
- ・ Campus News
- ・ 4号館開館等
- ・ 「旧久瀬宮邸」(通称「パレス」等) が重要文化財に指定へ



第53回 聖心祭報告

聖心祭には、秋の抜けるような青空が似合う一ですが、一足早い冬をつれた秋の長雨はあろうことか台風まで従え、聖心祭の二日間、10月21日22日は両日とも強い雨。肌寒い雨に打たれた木々の緑は、キャンパスの落ち着いた風情を際立たせてはくれましたが、精力を傾け万全を期して準備に取り組んできた学生たちにはなんとも気の毒でした。が、それでも、くさらずやけにならず投げ出さず、やるべきことはしっかりやって最良の結果を導き出すのが、聖心の学生なのだ、と改めて強く感じ入る二日間となったのです。お出でくださった皆様は、そんな学生の姿をつぶさにご覧いただいたものと思います。「逆境に強い聖心生」というキャッチフレーズがふさわしい学生たちは、学食をフードコートにして祭の盛り上がりを演出しました。

川村元気さん（大人気のアニメーション映画「君の名は。」のプロデューサーで小説家）の講演を無事にやり遂げ、サークルも、ゼミ発表も、お客さんの多寡によらず、見事なプレゼンテーションを見せました。公演系サークルのパフォーマンスも、いつもとかわらぬ鮮やかなものでした。後夜祭も、台風の足音近づく中、若い盛り上がりにはじけました。「結」というテーマどおりに、新しい繋がりをそこここで結び上げて見せてくれたのです。

学内工事中で、計画を十分に展開できず不便をかけたが、にもかかわらず見事に聖心祭を作り上げた学生たちに、心からの感謝と感動を伝えたい、と思います。

副学長（学生担当） 川津 誠



10月21日(土)、10月22日(日)の2日間にわたり開催されました第53回聖心祭は、2日間あいにくの雨模様でしたが、多くのお客様にご来場を賜り、大盛況のうちに無事終了いたしましたことを、ここにご報告いたします。

本年度の聖心祭は「結」をテーマに掲げ、聖心祭実行委員会一同、準備・運営に精一杯努めてまいりました。聖心祭実行委員会各セッションによる「結」をテーマとした企画や各参加団体による展示・パフォーマンスの披露等、様々な催し物と、プロデューサーや作家として活躍されている川村元気氏のトークショーを開催しました。作品ができるまでの話や仕事についてなどのお話をしてくださいました。また、宮代ホール・体育館では、様々な団体による歌やダンス等のパフォーマンスが行われ、多くの方々に本学学生の多岐にわたる活躍の様子をお伝えすることができたのではないかと思います。

こうしたさまざまな催し物を通じて、お越しくくださった皆様には聖心祭を楽しんでいただくことができました。

なお、聖心祭での収益金は本年度も一部寄付とさせていただきます。

最後になりましたが、聖心祭の開催にあたりご指導・ご支援いただきました大学関係者の皆様、広尾商店街および協賛企業の皆様、そして聖心祭にご来場くださいました皆様にあつく御礼申し上げます。

第53回 聖心祭実行委員長 入江 花南





2017年夏、7か国11大学で実施された研修に、66名の学生が参加しました。参加者の声をご紹介します。

カナダ

1年 基礎課程



クラスの半分の生徒が日本以外の国から来ていたので、英語を話さないと何も伝わらない環境で勉強をすることができてよかったです。

私は台湾や韓国、サウジアラビアからの友達ができ、SNSなどで研修後も英語を使う機会が増えました。毎週プレゼンテーションがあったので、大変だと思いましたが、大勢の前で英語を話す力を鍛えることができましたと思います。

台湾

2年 国際交流学科



朝8時から夕方16時頃までしっかり授業が入っていることが多く大変ではありましたが、分からない箇所や聞き取れない箇所があっても先生方が親切に対応してくださり、工夫を凝らして下さったので、とても充実していました。日本で学んでいる簡体字ではなく繁体字であることやピンインがない状態で教科書を読むことには少し苦労しました。

ドイツ

2年 哲学科



一日2コマ（一コマ90分）の授業。ほとんどをドイツ語で行い、細かな説明を英語で行っていたため、日本語以外の言葉に触れる機会が多く、クラスは10人程度の少人数のため、コミュニケーションがしやすかったです。午後のプログラムでは、はじめ自分のレベルに合わないと感じましたが、相談をするとすぐにクラスを変えてもらえたため、その後は楽しんで参加することができました。

アメリカ

2年 英語英文学科



今回の研修で得たことは、「何事も自分から積極的にしていかなければいけない」ということです。日本ではよく謙虚に生きるということを大切にします。しかし、何も発言しなければ何の変化も起こりません。これらのことを通して私は恥ずかしがらずに発言できるようになりました。授業でも、またホストファミリーとも、本当に積極的に話すことができたと思自負しています。

イギリス

2年 心理学科



授業では自由に発言することが許され、英語について分からないことは何でも先生が教えてくださいました。2人一組で話す機会も多くスピーキングの向上に役立ち、いろいろな国の方と話すこともできました。先生方もユーモアのある方で楽しく学べました。

授業内で3週間のうち2回、課外活動が行われ、美術館とマーケットを訪れました。授業内で行く前に説明があり、目的地の新しい情報を知ることができました。

韓国

2年 教育学科（初等教育学）



授業はクラス別でレベルによって少人数で受けられました。先生ともクラスメイトともすぐ親しくなれるので質問もしやすかったです。印象的だったことは授業後の文化体験です。韓服を着て直接体験することで文化を理解することができました。トウミ制度（日本語を勉強しているソウル女子大生のボランティア制度）では、現地の人ならではのスポットや食べ物を紹介してくれるのでとても充実していました。

フランス

3年 史学科



先生は2人いて、月曜日から木曜日までの基本的な文法とオーラルの授業をする先生と、金曜日は発音を中心にしてくれる先生の2人体制でした。宿題では毎日リスニングの問題が出されました。また、3日に1回聞き取りのテストが抜き打ちであったり、ペアになって短い会話集を覚えて発表したり、中間テストもあったりと、毎日しっかり勉強しないとついていくのが難しいクラスでした。

2017年度 ASEACCU (東南アジア・東アジア カトリック大学連盟) 報告



英語英文学科3年 安田 侑加
国際交流学科2年 佐々木初奈子

二〇一七年度ASEACCU 国際学生会議に参加して
8月21日から27日まで、タイ・バンコクの Assumption University にて開催された ASEACCU 国際学生会議に、聖心女子大学の派遣学生として参加致しました。今年のテーマは “Catholic Universities and Inclusive Education: Transforming Spaces, Promoting Practices, Changing Minds” でした。
現地では、身体・知的障がい者が通う特別支援学校の見学や、疑似体験ワークショップ、数々の講演を通して、インクルーシブ教育の包括的な理解を深めました。学生がディスカッションでは、国ごとに集まり日本のインクルーシブ教育について議論を深めた後、全体で各国の観点を共有することができました。インクルーシブ教育の根幹には、カトリックの土台ともいえる共生の理念があります。8か国から集まった参加者同士の交流でも、互いが輪を作り合い、共生の心を感じることもできました。
今回、会議参加に際してお世話になりました皆様へ感謝申し上げます。



就職活動

体験記

心理学科
花岡 杏奈さん

【内定先】
化粧品会社
販売職

キャリアセンターでは、学生一人ひとりがキャリアプランを立て、そのために自ら進んで行動し、キャリア形成しようとする意欲と態度を生み出すことを目標にしています。

今回は、就職活動を経験した4年次生3名に、4年間の大学生活を振り返ってもらいながら就職活動について話を聞きました。

● 3年次 9月～11月

- 9月 進路ガイダンス参加
- 10月～ 履歴書・エントリーシート対策講座参加
- 11月 筆記試験対策講座参加

● 3年次 12月～3月

- 12月 合唱サークル引退定期演奏会
- 12月 業界研究セミナー参加
- 12月 業界を絞りはじめる
- 1月 エントリーシート作成
- 2月 会社訪問開始
- 3月 面接開始

● 4年次 4月～5月

● 4年次 6月

- 9月 進路ガイダンス参加
- 10月～ 履歴書・エントリーシート対策講座参加
- 11月 合同説明会参加

- 12月 合同説明会参加
- 12月 パーチャル採用試験セミナー参加
- 1月 履歴書用写真撮影
- 2月 学内企業説明会参加
- 3月 会社訪問（開始）
- 3月 エントリーシート作成

- 10月～ 履歴書・エントリーシート対策講座参加
- 11月 合同説明会参加

- 12月 SPI 対策開始
- 12月末頃 OG 訪問開始
- 2月 エントリーシート作成
- 3月 会社訪問開始

聖心祭でのダンス発表
へ向けて猛練習

- ・第2回進路ガイダンス
- ・就職活動ウォーミングアップセミナー
- ・SPI 模擬テスト【対策編】（有料）
- ・就職活動のためのメイクアップ講座
- ・就職ガイダンス
- ・履歴書・エントリーシート対策講座
- ・就職活動イメージアップ講座
- ・筆記試験対策講座

- ・就職用写真学内撮影会（有料）
- ・業界研究セミナー
- ・SPI 模擬テスト【確認編】（有料）
- ・パーチャル採用試験セミナー（有料）
- ・4年次生による就職活動報告会
- ・キャリアカフェ～内定者と語ろう～
- ・新社会人応援セミナー（4年次生対象）

- ・SPI 型テストセンター（2016年度実績）
- ・玉手箱確認講座（2016年度実績）
- ・パーチャル採用試験セミナー
- ・全国一斉 WEB 模擬テスト

- ・4年次生・院生2年次生対象
就職ガイダンス

後輩にアドバイス



就職活動だけに追われるのではなく、息抜きの時間を取ることを心掛けて下さい。
焦りは禁物。周りにみだされたいこと、自分のペースを守ることが大切です。



面接では、丸暗記したことを台詞のように話すのではなく、自分の言葉で話せるように。
私は、キーワードを頭に入れて、返事に応用がきくようにしました。
友達と相談しながら準備するとよいと思います。



焦らないで。
自分の活動をけずって就活を優先するよりも、継続している活動があればやりきることが、自信につながって就活にも活きてきます。
自分を信じましょう。

業種決定の決め手は？



人とコミュニケーションを取る仕事がしたいと思いました。
なかでも、教育体制が整っている会社を選びました。



ルーティーンが多い仕事より、新しく何かを生み出す仕事、グローバルに働ける仕事であることを重視しました。



アクティブな日常のなかで充実感が得られる仕事がしたいと思っていたので、総合職を希望しました。

就活をどうやって乗り切った？



どこに行っても頑張れると信じ、迷わず進みました。自分自身を信じあきらめないこと、打ち込んできたことがあったから堂々と自己アピールもできました。



就活では色々な人からアドバイスを受けましたが、どの助言が正しい、正しくないかよりも自分には何が必要かを考えて取捨選択しました。



両親からは、やりたいようにやりなさいと言われていました。信頼されていることが心の支えとなり、愚痴を言うことも出来ました。部活の先輩にも相談をしました。あきらめないことが大事です。



心理学科
但馬 綾香さん

【内定先】
株式会社ホテルオークラ東京
総合職



国際交流学科
奥 あかりさん

【内定先】
新光商事株式会社
総合職

● 1～2年次

● 3年次 4月～6月

● 3年次夏休み



花岡さん

就活は、大学のキャリアセンターのスケジュールに沿って

姉妹校からの入学ではなかったのですが、入学当初は不安だったが、入学してすぐ、学籍番号が近かった同級生が誘ってくれた合唱サークルに入会した。様々な役職を経験し、充実した日々をすごす。

キャリアセンター主催の「就職活動スタート 業界・職種・企業研究セミナー（全3回）」に参加。

サークルは、部員が100名以上おり、取りまとめや活動にやりがいがあった。就職活動は、考えていたが、サークル活動を優先。



奥さん

ドイツ留学で、意見を述べることの大切さを学んだ

1年次の時に、聖心女子大学とボン大学と協定が結ばれた。第2外国語でドイツ語を履修していたので興味を持ち、2年次に試験を受け、2年次の春休みから8月いっぱいまで留学。

懇談会で、母が大学にキャリア相談。その情報・資料をドイツまで持参してくれた。日本にいる友達からも情報収集。

ドイツ帰国直後は、大学院進学を考えていた。家族と相談し、就職する方向へシフトチェンジ。



但馬さん

やりたいことを目いっぱいやったことが自信につながった

入学当初から、ダンスに興味があり、迷わずダンス部に入部。週4、5で放課後練習。アルバイトも、1年次から飲食とアパレルをかけもち。スケジュール的にはハードでもやりたいことだったので楽しかった。

3年次の聖心祭で引退となるので、ダンス部の活動に集中した。

インターンシップに参加する友人もいたが、ダンス部の合宿を優先。ただ1DAYインターンには参加した。

キャリアセンターの年間スケジュール

- ・1年次生のための資格ガイダンス
- ・1年次生向けキャリアセミナー
- ・2年次生対象進路ガイダンス

- ・インターンシップガイダンス
- ・自己分析セミナー
- ・就職活動スタート 業界・職種・企業研究セミナー



2016年12月23日開催、バーチャル採用試験セミナー



就職活動のためのメイクアップ講座（クリニック）

就職活動とは自分にあった企業との出会い探しです。良い出会いのためには、自分は何が好きか、何を大事にしてきたか大学生活をどう過ごしてきたかを、振り返る必要があります。就職活動はこれからという学生の皆さんには、自信をもってやり遂げたとと言える経験・体験を学生生活のなかでしてほしいと願っています。その経験・体験は自信となり、個人の軸にもなっていきます。4年間という限られた大学生活、やりたいことは極める、という強い思いで日々を過ごしてください。（キャリアセンター）



最新の進路状況は
本学公式HPで
公開しています

キャリアセンターの利用方法



3年次の6月以降は、ほとんどのセミナー、講座に参加しました。選考が進んでからは、キャリアセンターのスタッフに相談に行きました。



キャリアセンター主催の講座は、ほぼ全てに参加。エントリーシートの書き方についてもスタッフに相談に乗ってもらいました。



エントリーシートの書き方や、面接の相談に行きました。

【グローバル教育環境整備募金】

「世界の一員としての連帯感と使命感をもって、より良い社会を築くことに貢献する賢明な女性を育成する」という使命達成に向け、4号館（新棟）の整備、新学寮の建設など大規模なキャンパス整備を計画・実施してまいります。このため、本年1月より3ヵ年にわたり、皆様方からのあたたかいご支援をお願いしております。

■ご寄付の状況（2017年9月末日現在）

件数：502件

総額：69,856,076円

寄付者ご芳名（2017年4月～2017年9月末日）

グローバル教育環境整備募金につきまして、ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載し、深く感謝申し上げます。なお、ご芳名は掲載に同意いただいた方のみとなります。

【掲載要領】

- ご芳名は、上記期間に寄付申込書のご提出とご入金の確認が取れた方々について、お送りした領収証の宛名に記載の名義で掲載しております。なお、敬称は省略させていただきました。
- 金額掲載に同意された方については、金額別に五十音順で掲載しています。金額掲載に同意されていない方については、「ご芳名のみ」として五十音順に掲載しています。なお、芳名録への掲載に同意されなかった方につきましては、匿名として件数のみ掲載しております。
- 団体・法人については、代表者等のお名前は省略させていただきました。

■30,000,000円

前田 真也

■1,000,000円

愛知株式会社

金岡 紘子

羽瀨 信宏

宮代会北海道支部

■700,000円

室谷 民子

■500,000円

伊藤組土建株式会社

株式会社富山第一銀行

傍士 朋子

■300,000円

関場 誓子

■200,000円

大林 剛郎

亀井 基子

佐々木 元

志賀 朋子

株式会社

富山ファイナンス

株式会社虎屋

中内 綾

■100,000円

潮田 ちせ

大久保 恵美子

金田 光司

上林 真美

桑原 紀久子

鈴木 いづみ

鈴木 雅博

古谷 英宏

宮代会九州・山口支部

さゆり会

宮代会17回有志

山崎 信子

■86,720円

宮代会関西支部

■63,557円

聖心女子大学

人間関係研究室有志

■50,000円

小川 清次

西條 泰記

佐々木 美智子

清水 康博

関 昌央

藤田 佐喜子

宮代会静岡支部

山田 節子

吉川 八重子

■45,000円

宮代会湘南支部

■30,000円

阿部 理恵子

伊登 雅子

岩田 瞳

上原 佳子

大江 遥

岡野 具子

梶田 みどり

勝俣 洋子

加藤 留美子

草野 由里子

河野 典子

後藤 久徳

齋藤 健

佐々木 弘之

島田 馨

下田 恵美子

白川 悠子

竹下 和子

谷口 和子

玉置 晶子

恒川 寿美子

中田 美子

中坪 典子

鳴井 邦子

日吉 久美子

別府 和子

増田 潤子

吉田 尚子

渡邊 せつ子

■10,000円

九富 理

鈴木 サヤカ

立田 和子

福田 典子

■ご芳名のみ

青木 怜子

浅岡 幸子

安藤 恭子

磯野 成子

伊東 あき子

井上 礼子

岩村 恵子

内野 淑子

漆野 陽子

大澤 俊光

大戸 喜美代

岡田 知子

加藤 万紀子

川上 公子

川崎 麻里

木村 美佐穂

高阪 珠美

後藤 敬子

重田 さやか

下村 嘉子

清野 訓子

セントラル物産株式会社

染谷 房子

高石 美美子

戸田 好美

藤村 裕子

筆内 尚子

船山 博之

堀 秀世

光安 信枝

宮代会千葉支部

宮代会中国支部

宮本 英子

株式会社

山田写真製版所

大和 幸子

由井 花子

ヨシダ印刷株式会社

渡邊 厚子

渡辺 和子

渡部 早苗

30回生（個人）

■匿名 68件

ご寄付・ご支援のお願い【グローバル教育環境整備募金】

【募金に関するお問い合わせ先】 聖心女子大学経理部／電話：03-3407-5811（代表）

E-mail: keiribu@u-sacred-heart.ac.jp

●寄付金ホームページ URL: <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/contribution.html>

（「聖心女子大学 寄付金」で検索してください） ※ Web 画面からの申込み・クレジット決済も可能です。

委員会

文化系



学生会役員会

学生会役員会は、学内の課外活動団体の統括は勿論、入学式や卒業式、また聖心祭同時開催オープンキャンパスの運営補助をしています。さらにチャリティーデーのお手伝いや学生会役員会主催のチャリティーラッフルなどの活動を行っています。これらの活動を通して、大学に様々な形で携わることが出来ます。一つ一つの活動から吸収したことを忘れずに、役員同士の「絆」を大切にしながら、一致団結して活動しております。今後も、聖心の伝統を継承していくと同時に、常に高みを目指す気概を持ち、役員一同、精一杯活動してまいります。



聖心祭実行委員会

聖心祭実行委員会は毎年10月に行われる学園祭の運営を目的とした団体です。幹部、広報、内渉、公演、企画、ラッフル、夜後祭の7つのセクションから構成されています。毎年、テーマを決め、それに沿った企画や各参加団体によるパフォーマンス・展示の披露等を行います。また、聖心女子大学では創立者である聖マダレナ・ソフィア・バラの精神に基づき、聖心祭の収益の一部を復興支援などに充てさせていただいております。本年度で53回目を迎える、この伝統ある学園祭を守ると共に本学生が心から楽しむことができるような学園祭を目指して日々取り組んでおります。



SCE (聖心異文化交流会)

私たち聖心異文化交流会(SCE)は、学内の留学生との交流をはじめ、外部の国際フェスティバルに参加するなどたくさんの異文化に触れ、知識を増やすことを目的として活動しています。学期始めと学期終わりにには留学生を招きウェルカムパーティーを開催したり、留学生の母国語を学ぶことができる会も開いております。学内の留学生と仲良くしたいと思っている方や、国際交流に興味のある方は是非私たちと一緒に活動しませんか？

活動は、毎週水曜日のお昼の時間に行っております。



アナウンス研究会

私たちアナウンス研究会では、主に2つの課外活動を行っています。1つ目は、私たちが行う番組発表会と同じように他大学で行われている番組発表会を見に行くことです。定期的に行われる他大学の番組発表会に行き、その作品を見ることで番組制作について学ぶことができます。2つ目は、DJライセンスを取得していることです。これは首都圏にある38の大学の放送研究会サークルに所属する約4000人の学生を対象とした資格試験です。プロの尺度でスキルアップできる指導機会も設けられています。このように私たちアナウンス研究会は、学内だけでなく外部でも自分のスキルアップのための活動を行っています。



アートクラブ

アートクラブでは毎週部員で集まり、コーチの先生の指導のもと、デッサンや人物クロッキー、水彩や油彩など様々な手法で絵を描くことに挑戦しています。また、自分達でデザインしたクリアファイルや、ポストカードなどのオリジナルグッズの製作も行なっています。以前アートクラブがイラストを担当させていただいた「9ヶ国語で覚える医学図典」は初代学長賞をいただき、新聞にも掲載されました。今年度は新しくプラ板を使用したアクセサリーの製作を試みています。絵が好きの方、絵を描いてみたい方、初心者の方も経験者の方も大歓迎です。

課外活動団体紹介

さまざまなジャンルの課外活動団体が、それぞれ頑張って活動しています。今回掲載されていない団体も含めて54団体あります。

皆さん、応援してください！そして、各課外活動団体への入部を検討している方、活動の様子を見たい方は、遠慮なく各団体にアクセスしてみてください。(学生生活課)



E.S.S.

E.S.S. (English Speaking Society) は英語のコミュニケーション能力の向上を目的とした団体です。部員は、ディスカッション、スピーチ、デベートのいずれかに所属し、週3回お昼休みに活動しています。英語力だけではなく、論理的思考力、プレゼン能力、コミュニケーション能力などを養えるのがESSの魅力です。また、年に2回ディスカッションとスピーチの大会を主催しています。イチから大会を作り上げることは大変ですが、みんなで力を合わせて大会を作り上げたときの達成感は部活ならではのものです。ぜひ私たちと一緒に英語を使って活動してみませんか？



文芸部

文芸部は、自分の世界を文章で自由に表現できる部活です。ジャンルは、小説、詩、エッセイ等、文字で書くものであれば何でもかまいません。新入生歓迎会と聖心祭に向けての、計2回の部誌発行を最も大きな活動とするほか、毎週1回集まってミーティングをし、小さな企画を行ったりしています。少人数でアットホームな雰囲気の中で行う部活なので、部員全員に目が行き届き、お互いすぐに打ち解け合えます。文字書きに興味のある方、小説や漫画など、文芸作品が好きの方、部誌の絵を描いてくださる方など、幅広く歓迎いたします。



手作り小物クラブ

私たち手作り小物クラブは、イヤリングやピアス、ネックレスなどのアクセサリーや、樹脂粘土のフェイクスイーツ、UVレジンを用いたストラップなど様々な作品を部員一人ひとりの個性を生かして制作しています。部員が思い思いに作った作品は、聖心祭や災害復興支援チャリティーバザー、クリスマスバザーをはじめとする年数回のバザーにおいて、発表の場を兼ねて販売しております。私たちは見た人に幸福感をもたらすことができるような、個性豊かなオリジナルの作品を生み出すことを目標に、現在13名で活動しています。

体育系



自動車部

聖心女子大学自動車部は創立45年以上、女子大唯一の自動車部として活動しています。活動内容は主に学内や都内での運転練習、11月3月には運転技術を競う大会に向けての練習、2月5月8月にはスピード競技に向けての練習に励んでいます。他にも部員で試合観戦に行ったり、年に2回は他大学との交流会もあります。サイドターンやサーキット走行など、自動車部に入らないとなかなか出来ない体験がたくさんあります！兼部やサークルとの掛け持ちも大丈夫です！是非自動車部に入って刺激的な大学生活と一緒に送ってませんか？



ゴルフ部

ゴルフ部は現在3年次生3名、2年次生3名、1年次生4名の10名で活動しています。関東学生ゴルフ連盟に加盟し、春と秋の団体戦に向け、週2回の打撃練習と週1回の筋力トレーニングを行っています。長期休暇期間中はたくさんコースを回ることもでき、日々の練習の成果が分かり達成感を得られます。経験者もいますが、初心者として入部する部員がほとんどなので、4年間で切磋琢磨しながらお互いの成長を感じられます。また、短期間でも努力次第で試合に出ることができ、スコアは入部当初180近くでも100切りが可能なレベルにみんながなれます。部員と共に成長し合い、価値ある4年間をゴルフ部で過ごしてみませんか。



硬式庭球部

聖心女子大学硬式庭球部は、1948年からある歴史ある部活部です。現在は大学内にあるオムニコート4面で部員8名、監督方、コーチにご指導頂き、恵まれた環境で活動しております。関東大学テニス学生連盟に所属しており、主に3個の個人戦や大きな大会であるリーグ戦で結果を残すことを目標としています。今年度のリーグ戦では4部4位残留という結果でした。また、硬式庭球部はOGの方との交流も多く、リーグ戦では現役を応援するために多くの方が応援に来て下さいました。そんな恵まれた環境でテニスでできることに感謝することを忘れずに、今後も日々の練習に取り組んでいきたいと思っております。



スキー部

スキー部は50年以上の歴史を持ち、現在1年次生1人、2年次生3人、3年次生1人、4年次生1人、大学院1年次生の7人で活動しています。冬休みと春休み中の合宿と競技スキーの大会への参加を主な活動としており、大会での好成績を修められるように全員で切磋琢磨し活動しています。ほとんど全員が初心者として入部し、コーチに丁寧に指導してもらえるので4年間で大きく成長できます。皆さんと一緒に大学生活をスキー部で充実させませんか？



ダンス部

ダンス部は主に2つの大会に挑戦しております。毎年8月に行われる全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸(AJDF)。今年から9月に行われるアーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ (ART.M) に参加いたしました。私たちは創作ダンス、コンテンポラリー、モダンダンスやジャズダンスなど様々なジャンルに取り組んでおります。仲間と踊る楽しさ、自由な表現、そしてダンスへの熱い思い…。言葉にならないこと、からだを通して表現することを大切にしております。ダンスの可能性、自分の可能性を私たちと共に広げませんか。お待ちしております。



チアリーディング部

こんにちは!!チアリーディング部 HEARTIES です!!私たちが年3回の大会出場、様々なイベント出演など、沢山の活動を行なっています。大会での上位成績を目指し本気で練習するからこそ味わうことのできる本当の喜び、悔しさをみんなで一緒に経験しながら日々成長しています。HEARTIESはほとんどが未経験者です。何か新しいことを始めるのは誰でも不安ですがしっかりフォローしてくれる先輩や仲間がたくさんいます。私たちと一緒にチアを始めてみませんか?これからもチーム一丸となって上を目指し、1人でも多くの方に「元気/勇氣/笑顔!」を感じていただける感動の演技を目指していきます!!



馬術部

当部は女子大でも有数の、歴史ある馬術部です。通常の活動では月に数回、勝浦にある施設の宿舎にお借りしている部室に泊まり、2日間の騎乗と厩務を通して、濃い学びのある時間を過ごせます。ほとんどの部員が未経験からのスタートですが、スタッフの方が個々に合わせた内容でじっくり丁寧に教えて下さるので、初心者の方でも安心です。また、夏には大会への出場を通して、他大との交流も深めることができます。できないことができるようになる、そんな喜びを心から実感できる部活です。経験者の方、マネージャー希望の方も是非お待ちしております。



バスケットボール部

私達バスケットボール部は、4年次生3人、3年次生2人、1年次生5人の計10人で活動しています。人数が少なく苦勞をすることもありますが、少ないからこそ仲間同士の絆は強く、一人一人の存在が尊重されます。また、OGを始めとするスタッフの数が多くこの部活の特徴です。一人一人が手厚い指導を受けることができます。出場している大会は、春の新人戦、トーナメント、夏のリーグ戦、冬のカトリック女子大学総合スポーツ競技大会です。毎年、去年の自分達以上の結果を出すことを目標に取り組んでいます。



バレーボール部

私たちバレーボール部は、現在6名で毎週月曜、水曜、金曜の17時~20時、コーチにもご指導頂きながら活動しています。関東大学5部リーグに所属しており、4部昇格を目標に常に自分たちで考えながら練習をしています。今年の関東大学リーグ戦では5部残留という結果で、カトリック女子大学総合スポーツ競技大会にも参加させて頂きました。バレーボール部はOGの方との交流も多く、リーグ戦が行われる度に応援に来て下さったり、練習にも駆けつけたりもして下さいました。恵まれた環境の中で、部員一同切磋琢磨しながら取り組めることに感謝しながら、目標達成に向けてこれからも日々努力し、活動していきたいと思っております。



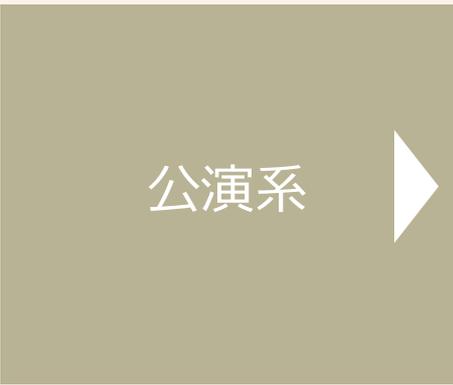
ラクロス部

私たち聖心女子大学ラクロス部 Hearts は、総勢53名の部員で活動しています。スローガンは「チーム」、一人一人がチームの大切な一員であり、誰一人かけることなく、全員一丸となり2部昇格という目標を掲げ、学生リーグに挑みました。11月から新チームが始まり、また、心機一転来年度の夏のリーグに向けて日々練習に取り組んでいます。壁にぶつかる事もありますが、共に乗り越えた同期や部員は一生の仲間です。ラクロスが出来る環境に感謝し、チーム一丸となり2部昇格を目指します!今後の部員の活躍にご期待ください!



なぎなた部

私たちなぎなた部は、技の鍛錬のみならず、集中力や忍耐力など精神を鍛え、武道ならではの美しい礼儀作法を身に付けることを目標として日々稽古に励んでおります。また、天道流薙刀術をなさる先生にご指導して頂いているので、現代なぎなただけではなく古くから伝わる古流に触れる機会も持てる大変貴重な部活動です。毎年、8月の全日本学生なぎなた選手権大会、11月の東日本学生なぎなた大会に参加している他、聖心祭で演武、リズムなぎなたの発表をし、年2回の留学生対象の体験なぎなたを催すなど学内外で様々な活動をしています。



公演系



ANNY 軽音楽部

当部は約40名の部員で活動しているバンドサークルです。新歓、新人、クリスマス、卒業の年4回の外部会場を使用してのライブと夏合宿を行なっています。また聖心祭ではライブ喫茶を行い、2日間ノンストップで演奏しています。毎週金曜お昼休みに部会を開いています。練習の時間は部で定めていませんので個人で、あるいはバンドで都合の良い時に練習できます。楽器初心者でも先輩が丁寧に指導しますので、安心して入部していただけます。大学から楽器を始めた部員もたくさんいます。経験者の方、音楽好きな方大歓迎です。



オーケストラクラブ

オーケストラクラブは主に毎週月曜日と木曜日の放課後に活動しています。年2回の演奏会ではクラシックの名曲を、聖心祭ではポップスを演奏します。クリスマスバリエーションや卒業式など、大学の行事でも演奏しています。各パート、読売交響楽団をはじめとするプロの先生方のご指導を受けることができます。大学から楽器を始めたい、といった初心者の方も大歓迎です。楽器を持っていない方も、学校楽器をお貸しすることができます。見学や楽器体験は年間を通して行っております。私たちと一緒に音楽を通じて楽しく活動しましょう!



ギターアンサンブルクラブ

ギターアンサンブルクラブは、クラシックギターを中心に、アコースティックギター、ベースなどを使い、年に1回12月に開催する定期演奏会に向けて、前期は週2回、後期は週3回、放課後に練習を行っています。定期演奏会は今年で48回目を迎え、J-POP からクラシック、洋楽などの幅広いジャンルの曲を演奏しました。その他にも、年に2回、早稲田大学のギターサークルの方と発表会を行ったり、聖心祭で演奏したりしています。部員は全員初心者から始め、コーチの指導のもと、練習しています。とてもアットホームな雰囲気、部員同士仲がいいです。15人と少し少人数ですが、楽しく活動しています。



グリークラブ

グリークラブは創立当初からある活動団体で、年に2回の演奏会に向けて、週3回お昼休みと放課後に練習しております。今年度は第71代の部員を迎え、部員に一層覇気が増したように思います。活動の幅も広がり、第66回NHK紅白歌合戦では五木ひろしさんのバックコーラスを務めさせていただきました。そんなグリークラブも今年12月に「執行代の交代」という大きな節目を迎えます。脈々と続く伝統を持つグリークラブは、多くの先輩方、OG様方が築き上げてきた大切な場所です。その多くの想いや、皆様からの期待に応えられますように、今後も部員一同心一つにし、真摯に音楽に向き合っていきたいと思っております。



箏曲部

私たち箏曲部は、生田流白菊会の先生方やOGの先輩方にご指導いただきながら、パレスで箏と三絃のお稽古をしております。お弾き初め、年2回の合宿、春合宿発表会、聖心祭での演奏会と模擬店、定期演奏会と行事が充実しております。部員同士も仲が良くアットホームな部活です。部員のほとんどが大学から箏や三絃を始めたため、初心者でも安心して始めることができます。希望者は卒業までにお免状を頂くことも可能です。興味を持たれた方は、お気軽にパレスに見学にいらしてください。部員一同お待ちしております。

追悼

人間関係学科 岩上真珠教授がご逝去されました
謹んでお悔やみ申し上げます



長い間、文学部教授を務められ、副学長としても大学運営に尽力された岩上真珠先生が2017年8月9日にお亡くなりになりました。

岩上先生のご専門は家族社会学であり、社会変動のなかに家族を位置づけ、個人をライフコースの視点から研究することを通して、近代のあり方を探求することが、先生の学問の中心をなすものでした。

岩上先生の学生指導は厳しいなかにもあたたかみがあり、学生のことを一番に考える面倒みの良いものだと、多くの学生たちから慕われておられました。

2017年9月30日に聖心女子大学聖堂にて岩上真珠先生追悼ミサ、その後、学内食堂にてお別れの会が行われ、岩上先生を想う多くの方たち - 恩師や同級生、研究仲間、教え子たちが聖堂いっぱいに参加し、先生とのお別れをいたしました。

岩上真珠先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

大槻 奈巳 (人間関係学科・教授)

聖心女子大学聖堂で行なわれた
追悼ミサ



岩上 真珠 先生プロフィール

2002年 聖心女子大学文学部歴史社会学科人間関係専攻(現・人間関係学科)に教授として着任。専門は家族社会学、ライフコース論。とくに現代社会のシステムと女性のライフコース。最近の研究は、若者のキャリア形成に関する国際比較。主な担当科目は家族社会学1・2、家族社会学演習1・2、社会調査実習2など。2012年4月より学生担当副学長(～2013年9月)。

Campus News

シミズ ボランティア アカデミー 「障がい者スポーツ、ボランティアについて学ぼう！」



2017年11月4日(土)13:00～17:00に聖心グローバルプラザ(4号館)にて、「清水建設×聖心女子大学×日本赤十字看護大学連携講座 シミズボランティアアカデミー」を開催いたしました。パラリンピックメダリストの講師による、パラスポーツの紹介や視覚障がい者・車いすの方に対する接し方の実習は、人々の多様な在り方を尊重し、相互に認め、支えあう共生社会の実現に向けて、自らが出来ることを考えるきっかけになりました。

マグダレナ・ソフィアセンター

外務省主催 国際問題プレゼンテーション・コンテスト



外務大臣賞 受賞

国際交流学科 2年
佐々木 初奈子さん

この度、9月24日に開催された「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」(主催:外務省)で、外務大臣賞を頂くことができました。

今大会のテーマは、「私の提言～国際社会で活躍する日本人を増やすための方策とは～」でした。そのため、これからの若者が世界へ羽ばたくには、国際社会で活躍することへの憧れや、世界に対する熱い思いを育成することが一番重要であると考え、「3E for Change」と呼称する3段階の教育改革アプローチを提案しました。これは小学生ではEncounter、中学・高校生ではEncourage、大学・大学院生ではEnforceと称する、教育の3区分に応じた国際性を育むためのアプローチです。「グローバルな人材と聞くと、語学力や専門性が重要であると感じるが、他人の苦しみに寄り添える心も同じくらい重要である」という審査員の方のコメントがとても心に響きました。また、今回大勢の方々の前でプレゼンテーションをし、評価して頂けたことは、自信に繋がりました。これからも、国際社会に関心を持ちながら、いつかは夢である国連などの国際機関で活躍できたら嬉しいです。

佐々木 初奈子

平成 29 年度 第 1 回 聖心女子大学協力会役員会開催

平成29年9月15日午後3時から本学大会議室で平成29年度第1回聖心女子大学協力会役員会が開催された。議事に先立ち西村事務局長から、新たに選任された1年次生役員4名が紹介された。岡崎名誉会長の挨拶に続き、濱口会長の進行の下、議題「平成29年度聖心女子大学協力会会長・副会長の選出について」が審議され、会長に現任の濱口敏行氏、副会長に現任の木村雅彦氏が岡崎名誉会長から推薦され、一同に諮られ承認された。引き続き、大学からの報告事項として佐々木学務担当副学長及び川津学生担当副学長から大学の近況が紹介された後、西村事務局長から本学キャンパス整備の進捗状況について報告があった。

総務部 総務課

講演会

9月22日、17時から、4号館/聖心グローバルプラザのブリットホールにて、カナダ・ケベック州の小説家キム・チュイさんによる「難民から確たる居場所を求めて」の講演が行われました。チュイさんは、自らの難民体験に基づいた小説を執筆するベストセラー作家であり、それらの作品は日本語を含め15か国語以上に翻訳されています。

当日は、学生、教職員、学外の方など、約200人の参加者が集まりました。本講演でチュイさんは、ヴェトナム戦争後の混乱を背景にボートピープルとして亡命した家族の物語を語り、難民キャンプでの苦勞と、カナダに移住できたときの喜びやチャレンジをフランス語で話されました。これまでの人生で様々な問題を克服したチュイさんは、ポジティブな視線を持ち、ユーモアに溢れ、わたしたちに希望を与えてくれる感動的な話をしてくださいました。また、チュイさんご家族にとって、できる限り社会貢献することが、カナダへの恩返しにつながると強調されました。

講演後は、学生からの多くの質問に時間をかけて丁寧に答えてくださいました。

スティーブ・コルベイユ（国際交流学科・准教授）

聖心女子大学国際交流学科特別講演会 グローバル共生研究所共催

「難民から確たる居場所を求めて」



Campus News

OPEN しました！

展示・ワークショップスペース

4号館/聖心グローバルプラザ1階

BE*hive

2017.9.18
OPEN

目的

BE*hiveは、ハチの巣(Hive)から飛び出したミツバチ(Bee)が花々を訪れ果実を実らせるように、多種多様な文化と出会った学生の学びが実を結ぶことを願って名づけられました。その学びの中で、「BE」に込められたもう一つの意味、「人としての存在」を深めていけるような「良質な問い」と出会える空間を創っていきます。

ワークショップ

BE*hiveでは、学びをより深めていただくためにさまざまなワークショップをご用意しています。また、どなたでも参加可能なイベントも実施しています。ワークショップ申込方法・イベント開催日などの詳細は聖心グローバル共生研究所ホームページに掲載しています。

「展示」オープニングテーマ

現在BE*hiveでは「難民・避難民」、特に2018年2月までは「日本にいる難民」を主なテーマとしています。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は、紛争や迫害で居住地を追われた難民・避難民が、2016年末時点で過去最高の推計6,560万人に上ったとする報告書を発表しました。日本でも難民認定申請者数が2016年によりやく1万人を超えました。しかし実際に日本で「認定」された方はどれくらいだと思いますか。

世界で、日本で「難民問題」が大きくなる中、皆さんはどのようにこの問題と向き合っていきますか。

ぜひBE*hiveに足を運び、自分のこととして考えてみてください。

また同時並行の特別展では「無国籍者写真展」を開催しています。



開館日・開館時間・入場料

月～金：10:00am～6:00pm

土：11:00am～4:00pm

(休館日 12/23～1/8)

入場料無料

(20名以上の団体の場合は、あらかじめご連絡ください。)

その他詳細は、グローバル共生研究所ホームページをご覧ください。
<http://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

本学構内にある登録有形文化財の旧久邇宮邸(パレス)が、この度、国の重要文化財に指定されることになりました。

指定の名称は「旧久邇宮邸(聖心女子大学)」で、大正7年竣工の本館小食堂(パレス西棟)と正門、および大正13年築の御常御殿(パレス東棟)がその対象の建物です。

また、クニハウスの一部である本館玄関(車寄部分)も、附(ツケタリ)指定とされます。これらの建物は、本学が創立と同時に譲り受けた後、今日に至るまで、様々な教育・研究活動等のために利用してきましたが、平成27年度に、国の補助金も得て大規模な耐震改修を実施し、今後とも末永く利用していくことができる環境を整えたところです。

今回の重要文化財としての指定基準は、「意匠的に優秀なもの」、「学術的価値の高いもの」とされています。これまで、学生や教職員による利用に加え、一般公開等の機会を通じて、和風を基調として建築された宮家の本邸として唯一現存している建物の意匠や、その内部を飾る芸術作品の数々を、多くの皆さまに御覧いただけてきました。

この度の重要文化財指定は、聖心女子大学の卒業生・在學生・教職員、その他の関係者にとってたいへん名誉で喜ばしいことであり、このかけがえのない文化財を将来に伝承していく決意を新たにするとともに、これまで様々な形で支えてくださった学内外の皆さまに、この機会をお借りして心から御礼を申し上げます。

(総務部 総務課)

「旧久邇宮邸」(通称「パレス」等)が重要文化財に指定へ



聖心女子大学4号館開館 グローバル共生研究所開所 記念式典 レセプション

2017.10.14(土)



聖心女子大学グローバル教育環境整備募金委員会 委員長 濱口敏行様



UNHCR 駐日事務所 代表代理 副代表 河原直美様



【基調講演】
RET International CEO
ゼイネップ・ギュンデュース様



聖心女子大学4号館開館、グローバル共生研究所開所の記念式典およびレセプションを10月14日、約200名の学内外関係者にご参列いただき執り行いました。式典は、町田市を拠点に活動する「とびたつ会」と本学のグリークラブ有志による合唱で始まり、学長挨拶に続きご来賓の皆様からの祝辞を賜りました。基調講演として、RET International CEOのゼイネップ・ギュンデュース様から、グローバル社会における女性の教育と活躍への期待をこめたスピーチを頂戴し、締めくくりとして大橋研究所長より本学においてグローバルな視点を持った人材を育成するとの決意が述べられました。式典後のレセプションでは、なごやかな雰囲気の中、ご来場のみなさまの交流が図られました。

(グローバル共生研究所)